

研究科の入学者受入方針 (アドミッションポリシー)

○医療保健学研究科

修士課程

科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動を通じて、各領域において医療保健分野における学際性と専門性を追求し、さらにマネジメント能力の兼備、医療保健現場における実践の質の向上を図ることとし、学際的・国際的な視点から医療保健学を教授し臨床現場における実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成するため、入学者には次の資質が求められます。

看護マネジメント学領域

- (1) 所属組織における管理や協働経験を有し、部署・組織とともに地域全体の看護の質向上・改善までを含むビジョンを描き、リーダーシップを発揮する意欲のある者
- (2) 現場の看護管理の実践に、経営学や質管理などの学問的知識や手法が必要と考え、さらに学修を深めたいという意欲がある者
- (3) クリニカルクエスト（臨床での疑問）を持ち、その社会的意義や学術的意義を考えていく意欲のある者
- (4) 学位取得および働きながら研究活動を遂行する意欲のある者

看護実践開発学領域

- (1) 看護の実践知に関心を持ち、より良い看護を探求しようとする意欲を有する者
- (2) 社会のニーズに応じ、先を見据えて新たなケアを創出する意欲を有する者
- (3) 実践の知を医療の現場に還元し、今後の医療保健に貢献する意欲を有する者

助産学領域

- (1) 助産師としての臨床経験を有し、確実な助産実践能力、患者教育及び学生・同僚への教育・指導力等の向上に意欲を有する者
- (2) 自らの考えを表現し、また、他者からのフィードバックを受け入れて統合する力を備えている者
- (3) 臨床における問題意識を有し、専門知識と実践力を生かして自ら行動し変化を起こす意欲を備えている者
- (4) 実践と概念を結びつけるための思考能力の基礎を有する者

感染制御学領域

- (1) 感染制御学の基礎的知識を有し、体系的に学ぶ意欲を有する者
- (2) 臨床現場および社会との関連において、双方向的に卓越した実践能力・調整能力を身に着ける意欲のある者
- (3) 専門性をより高め、体系的な感染制御を学ぶ意欲を有する者
- (4) 学位取得および働きながら研究活動を遂行する意欲のある者

周手術医療安全学領域

- (1) 周手術の医療安全における基礎的知識を有し、体系的に学ぶ意欲を有する者
- (2) 臨床現場において、卓越した実践能力・調整能力を身に着ける意欲のある者
- (3) 専門性を高め、今後の周手術医療安全に貢献する意欲を有する者
- (4) 学位取得および働きながら研究活動を遂行する意欲のある者

滅菌供給管理学領域

- (1) 滅菌供給における基礎的知識を有し、総合的に学ぶ意欲を有する者
- (2) 臨床現場および社会との関連において、双方向的に卓越した実践能力・調整能力を身に着ける意欲のある者
- (3) 専門性をより高め、学問的知識や手法を体系的に学ぶ意欲を有する者
- (4) 学位取得および働きながら研究活動を遂行する意欲のある者

医療栄養学領域

- (1) 医療・保健分野における社会のニーズを踏まえ、それらに対する問題意識を有し、その解決に意欲を有する者
- (2) 栄養ケアにおける臨床経験を有し、患者の栄養サポート能力、および同僚への教育・指導力等の向上に意欲を有する者
- (3) 栄養ケアに関する専門知識と臨床における実践力を統合し、論理的思考力を高め、今後の医療・保健に貢献する意欲を有する者

医療保健情報学領域

- (1) 医療保健分野における実践的な知識や経験を通して問題意識を持ち、社会共通の課題として探求する意欲がある者
- (2) データサイエンス・情報学を学び・実践するための社会人基礎力がある者

博士課程

科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動を通じて、学際的・国際的視点から医療保健学を伝授し医療に関連する社会において、卓越した実践能力及び研究・教育・管理能力を有する高度専門職業人を育成するため、入学者には次の資質が求められます。

感染制御学領域、周手術医療安全学領域、看護学領域

各領域における専門知識と技術を有し、医療の関連する社会でのさらなる実践能力の向上を目指し、学際的・国際的な視点から専門的知識を体系的に学ぶとともに、各領域に関する研究能力の向上に向けて、意欲を有する者

○看護学研究科

現代の医療は、日々、高度化、複雑化し、専門化が進んでおり、国民・患者の医療に対するニーズも多様化しております。その一方で、医療の現場では、医師不足に伴う救急医療における患者の受け入れ拒否、産科病棟の閉鎖、ハイリスク妊婦の受け入れ先及びNICU 病床の不足等の課題が指摘されるなどの諸問題を抱えております。

また、看護の基礎教育の大学化が急速に進む中で、看護研究教育に係ることのできるスキルを備えた教育者の確保も極めて困難な状況にあります。

大学院看護学研究科では、高度な判断力、実践力及び教育研究・管理能力を通して、医療・保健・福祉に対する時代・社会のニーズに的確・迅速に対応し、チーム医療を支えることができる高度実践看護職、また、研究・教育の探究を通して、看護学の発展に寄与することができる人材を育成します。

1) 修士課程：高度実践看護コース

救急医療などの現場において、5年以上の看護実践経験を持ち、本コースにて高度で専門的医療提供に必要な知識、技術を身に付け、患者ニーズに対応したタイムリーな医療を提供でき、医療従事者間のスキルミックスにより、チーム医療のキーパーソンとして自律的に活躍できる能力を備えた高度な看護職、すなわちクリティカル領域で活躍する診療看護師（NP）を育成します。

本コースでは、医療における「看護」の役割を充分認識したうえで、救急医療を含むクリティカル領域で、医師等と連携・協働してプライマリ診療の実践に自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

2) 修士課程：高度実践助産コース

科学的裏付けを活用した高度な実践力、助産学の発展に寄与する研究能力および地域母子保健分野でのリーダーシップ力を持つ自律した助産師の育成を目指しています。

本コースの助産師免許取得プログラムでは、①生命誕生に関わり、母子とその家族を支援したいと強く願う学生②豊かな感性と倫理観をもつ学生③看護学における基礎的知識・技術を持ち、意欲的で主体的に学ぶ学生④高度な助産実践力を習得し社会に貢献したいと願う学生を求めています。

助産師プログラムでは、①科学的裏付けに基づき助産実践力の探究と助産技術の研鑽をかさねたスペシャリストを目指す学生②リプロダクティブヘルス/ライツの精神に基づき、女性の健康支援と安心して子育てができる地域母子保健事業や国際助産など幅広い分野で活躍できる学生③研究手法を習得し助産学に貢献したいと願う学生を求めています。

3) 修士課程：高度実践公衆衛生看護コース

少子高齢化の急速な進展に伴い、住民の健康増進・疾病予防等を支援し、我が国の健康寿命の延伸に貢献できる保健師の能力を育成していくことが重要です。地域の住民の特性を的確に把握し、自立を支えることを通して、地域住民のヘルスリテラシーを高め、さらには地域のソーシャル・キャピタル等を高めることができる保健師の育成を目指しています。また、産業保健活動を通して就労者の健康支援ができる保健師の育成も目指

しています。

本コースでは、保健師としての目的意識及び21世紀の保健師に求められる将来像を明確にもち、実践家又は教育研究者を目指して自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

4) 修士課程：看護科学コース

看護学の発展・進化及び看護のさらなる質向上を目指すために、研究マインドを持って看護学の基礎教育に関わることができる「教育者・研究者」や、実際の医療保健の現場においてエビデンスに基づいた看護マネジメントができる「看護管理者」を育成します。

本コースでは、科学的な視点から看護学を探究し、自らもエビデンスを創出し、エビデンスに基づいた看護実践にまで発展させることを目指して、自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

5) 博士課程

看護学の発展・進化及び看護のさらなる質向上を目指すために、研究マインドを持って看護学の基礎教育に関わることができる研究・教育者を育成します。

博士課程では、科学的な視点から看護学を探究し、エビデンスを創出し、エビデンスに基づいた看護実践にまで発展させることを目指して、自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

○和歌山看護学研究科

入学者として以下の資質を有する人材を求める。

1. 豊かな人間性と倫理観を備えている者
2. 広い視野と探究心を持ち、自ら学ぶ姿勢を有する者
3. 研究に関する展望を持ち、論理的思考力を有する者
4. 専門職業人として高度な実践能力の向上とケアの発展を目指す意思を有する者

○千葉看護学研究科

本研究科は地域包括ケアシステムにおいて看護の本質を掴む能力を有し、多種多様な医療福祉機関と人々を繋ぐことができ、地域社会における看護機能を推進する研究を実施し、成果を示す能力を有する高度専門職業人を育成するために以下の能力を持った学生を求めています。

- 1) 専門分野の知識・経験を持ち、看護学に関する基礎的知識、実践を概念化する思考能力の基礎を備えていること。
- 2) 多様な組織・地域・社会へ働きかける態度と資質を有し、ケアの視点を広げて他職種と協働する力の統合を志していること。
- 3) 地域社会のテーマに沿った研究計画を立案し、実施する姿勢を持ち、論理的思考を研鑽していく意欲を有していること。